

高等学校課題曲「僕が守る」(男声四部合唱)

演奏のポイント (解説：清水 敬一さん)

全体的な注意は混声と変わりませんが、男声合唱は混声合唱よりも音域が狭い分、旋律が潜ってしまうところがあります。この作品は旋律の魅力がたっぷりありますから、演奏する側でバランスを調整してメロディーを生かすことをお勧めします。

例えば 19 小節の頭はトップテノールを強く、バスはそれを助けましょう。そしてセカンドテノールはかなり弱くしてメロディーを浮き上がらせてください。71 小節の「なると」の「ると」の音もやはりセカンドテノールは弱く、トップテノールはしっかり歌って旋律線を出しましょう。85 小節は男声版だけが *meno piano* (メノピアノ) が使われていませんが、これはバリトンが加わり、バランスが変わることで表現が変化する処方妙です。

101 小節のトップテノールのラインはオリジナルに対するバリエーションですが、私は十分に歌い上げて良いと思います。108 小節から 109 小節は、バリトンからバス、そしてオクターブ上がってセカンドにつながるラインは音が順次進行的に動いていく美しい流れです。男声だけにあるこのラインの魅力を感じましょう。全体に男声合唱の暖かい響きの特色を引き出しやすいバージョンになっています。

男声合唱の良さを生かした、感情をたっぷりこめた演奏を聴く事を楽しみにしています。